

《2023年度 学校関係者評価書》

学校法人吉備学園
岡山商科大学専門学校
校長 豊福 尚男

2023年度の学校関係者評価（2024年2月17日開催の第2回学校関係者評価委員会で実施）を行ったので、その結果を次のとおり公表する。

記

1. 学校関係者評価委員名

所属等	種別
全国旅行業協会岡山県支部 支部長 田中 雅彦	企業
岩本 伸也	卒業生
吉澤 美智子	保護者
京山地区育成協議会 顧問 吉本 賢二	地域関係者
学校法人吉備学園 法人事務局長 白神 敏彦	学校法人

2. 学校関係者評価結果、評価委員の提言及び提言に対する学校の改善方策

※評価基準 4：適切、3：ほぼ適切、2：やや不適切、1：不適切

【学校及び評価委員の評価結果の数字は、学校教職員及び評価委員の平均評価「小数点第1位まで表示（小数点第2位を四捨五入）」】

〈1：教育理念・目標〉

評価項目	評価	
	学校	委員
①学校の教育理念・目的・育成人材像は定められているか	4.0	3.8
②学校の教育理念等の達成に向けた取組を行っているか	3.9	3.5
③社会の変化・ニーズなどに対応した将来的な展望を描いているか	3.6	3.7

〈2：学校経営〉

評価項目	学校	委員
①学校経営目標を達成するための事業計画を定めているか	4.0	3.8
②学校経営のための組織を整備しているか	3.8	3.5
③人事・給与に関する規定等を整備しているか	3.8	3.5

〈3：教育活動〉

評価項目	学校	委員
①学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3.7	3.7
②キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3.5	3.5
③授業評価を実施しているか	3.5	3.5
④成績評価・進級・卒業判定の基準は明確になっているか	3.8	3.7
⑤教職員の資質向上のための取組を行っているか	3.5	3.1

〈4：学修成果〉

評価項目	学校	委員
①大学進学及び就職率向上のための取組を行っているか	3.8	4.0
②国家試験合格率・資格取得率向上のための取組を行っているか	3.5	3.5
③卒業生の社会的な活躍及び評価を把握し、それを学校の教育活動の改善に活用しているか	3.5	3.5

〈5：学生支援〉

評価項目	学 校	委 員
①進学・就職に関する支援体制を整備しているか	3.8	3.7
②学生相談に関する体制を整備しているか	4.0	3.8
③学生に対する経済的な支援体制を整備しているか	3.6	3.3
④学生の健康管理を担う組織体制を整備しているか	3.8	3.5
⑤課外活動に対する支援体制を整備しているか	3.8	3.7
⑥退学・除籍率低減のための取組を行っているか	3.8	3.7

〈6：教育環境〉

評価項目	学 校	委 員
①施設を教育上の必要性に十分対応できるよう整備しているか	3.5	3.7
②設備を教育上の必要性に十分対応できるよう整備しているか	3.4	3.5
③学内における安全管理体制を整備しているか	3.7	3.7
④防災に対する組織体制を整備しているか	3.8	3.7

〈7：学生の受け入れ募集〉

評価項目	学 校	委 員
①学生募集活動を適正かつ効果的に行っているか	3.8	3.9
②入学選考基準を明確にして、適正に入学選考を実施しているか	3.7	3.9
③学納金は妥当なものとなっているか	3.6	3.5

〈8：財務〉

評価項目	学校	委員
①中長期的に学校の財務基盤が安定するよう取組を行っているか。	3.7	3.3
②予算・収支計画に基づき、適正に予算執行管理を行っているか	3.8	3.5
③財務について適正に監査が行われているか	4.0	4.0
④財務情報を公開しているか	4.0	3.8

〈9：法令等の遵守〉

評価項目	学校	委員
①法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運用がなされているか	3.9	3.9
②個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3.7	3.3
③自己評価や学校関係者評価を実施し、問題点等の改善を行っているか	3.9	3.5
④自己評価結果や学校関係者評価結果を公開しているか	4.0	4.0

〈10：社会貢献・地域貢献〉

評価項目	学校	委員
①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行なっているか	3.4	3.3
②学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3.4	3.5

〈11：国際交流〉

評価項目	学校	委員
①留学生の受入れと在籍管理が適切になされているか	3.8	3.9
②留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	3.8	3.7
③留学生と日本人学生の交流は図られているか	3.9	3.6

〈12：評価委員の提言【評価項目1～11についての総括的な意見】〉

- ① SNSを活用するなど工夫をし、学校の知名度を上げて学生を増やしてほしい。
- ② 物価が上がっている割には給料が上がっていない。学生が経済的理由で退学しないように対策をしてほしい。
- ③ 学校のホームページをインターネット系学科の授業の中で学生が作成してはどうか。お金がかからないし、10代の若者向けの魅力のあるものができる。
- ④ 地域の奉仕活動としては、高齢者の多い世帯が多いので、ゴミ拾いよりも溝掃除の方が喜ばれるのではないか。

〈13：評価委員の提言に対する学校の改善方策〉

- ① 岡山商科大学3年に編入できる唯一の専門学校であることを柱として、効果的な広報活動（SNSの活用・高校訪問等のワイド&スポットの継続）、新設学科（動画デザインビジネス学科）のPRや附属高校、日本語学校との連携強化等を進め、知名度を上げたい。
- ② 留学生には、家賃の安い学園所有の学生寮の提供や日本語能力検定合格者への授業料減免や奨学金支給を行い、日本人学生には、借間等の家賃補助や修学支援新制度活用による授業料と入学金の減免を行っている。また、成績が優秀、出席率が良好等の学生（留学生・日本人）には、学校独自の奨学金を支給している。
- ③ 学校のホームページを授業の中で作ることは、コストの削減と学生たちのスキルの向上に繋がるが、ホームページは学校のイメージ「顔」となるものであるため、セキュリティリスク・保守管理等の諸事情を勘案して、前向きに検討をしていきたい。
- ④ 地域に喜ばれる奉仕活動として、ゴミ拾いから始めて、次は、市道等の草刈、そして溝掃除へと地域と相談しながら、順次広げていきたい。